# 群馬県切断穿孔協会 第2期定時総会

## 協会・業界の発展に向けて

舗装切断工事、穿孔工事、ウォールソー工事、ワイヤーソー工事、汚水処理に携わる企業を中心に組織された群馬県切断穿孔協会（佐藤高広会長）は10月26日、高崎市内の魚仲で第2期定時総会を開催した。第2期の事業報告や決算報告、監査報告を行ったほか、第3期の事業計画案や予算案を審議し全会一致で承認した。

会長 佐藤 高広氏

冒頭、佐藤会長は「台風19号の災害による復旧作業で私の会社も忙しい日々を過ごしている。復旧作業を通じて切断穿孔の仕事は群馬県のインフラを支える重要な仕事であることを感じた。当協会でことし最も大きく変化したのが汚水処理の関係で、最初の時期は試行錯誤する日々であったが、皆さん方の力で良い方向に向かっている。先日開催されたラグビーワールドカップで体格の大きい外国人選手を相手に日本人選手がスクラムで勝っている姿を見て、私たちの協会も群馬県という限られたエリアの中ではあるが、スクラムを組み、皆さんと一丸となって未来に向かって進んでいきたい」と協会と業界の発展に注力していく覚悟を述べた。

議事は佐藤会長が議長となり進行した。1号議案の第2期事業報告では2018年10月27日に伊勢崎プリオパレスで第1期総会、19年3月30日と7月17日に会議を開催したことを説明した。

2号議案の第2期決算報告は18年10月1日～19年9月30日の収支内容を説明。監査報告は同協会の監査を務める蓼沼勝徳氏が行った。

第3号議案の第3期事業計画案には会議を情報共有の場とすることや地域を越えて、業界を盛り上げるために活動することを盛り込んだ。

第4号議案の第3期事業予算案では19年10月1日～20年9月30日の収支予算案を説明した。

このほか、ダイヤモンド工具、砥石・研磨剤の製造販売業のサンゴバン アブレイシブ事業部東京支店の新規入会を承認したほか、儀同正夫氏が新潟県建設専門工事業団体連合会と新潟県土木部の意見交換会に向けて現場の安全衛生経費や建設キャリアアップシステムについて盛り込んだ意見・要望書を示し説明した。

この後、一般管理費や法定福利費、路面切断による汚水処理などについて各社が取り組み状況を報告し、情報共有を図った。

総会終了後は懇親会を開催。前原直之相談役の乾杯の発声で始まった懇親会ではさらに具体的な意見交換を行い親睦を図るとともに結束を一層強固なものとした。

切断穿孔工事の未来を担う会員

全議案を全会一致で承認


## 群馬県切断穿孔協会

会長　佐藤　高広

事務局：株式会社マコラボ　〒370-0852　群馬県高崎市中居町4-12-2　201
TEL：027-386-2186　FAX：027-386-4637

【会員企業】

有限会社 協立技工
群馬県前橋市鳥羽町7-1
TEL 027-289-8303

有限会社 京北カッター
埼玉県行田市長野4635-1
TEL 048-559-1330

敷島産業 株式会社
群馬県渋川市赤城町津久田170-8
TEL 0279-56-2056

有限会社 ダイワカッター
群馬県高崎市金古町2406-2
TEL 027-373-8477

有限会社 タデヌマ工業
群馬県桐生市川内町1-164-5
TEL 0277-65-9245

株式会社 グンマカッター
群馬県高崎市八千代町3-9-18
TEL 027-326-3444

有限会社 コア
群馬県みどり市笠懸町久宮382-10
TEL 0277-77-2225

新道路企画 有限会社 桐生支店
群馬県桐生市菱町1-251
TEL 0277-43-8670

第一カッター興業 株式会社
高崎営業所
群馬県高崎市菅谷町20-271
TEL 027-373-5651

有限会社 日昇
新潟県新潟市東区空港西2-10-29
TEL 025-274-0067

有限会社 群馬ダイヤ
群馬県伊勢崎市柴町305-9
TEL 0270-31-1500

有限会社 サンロードカッター
群馬県高崎市棟高町142-1
TEL 027-373-6592

関口カッター工業
栃木県足利市島田町842
TEL 0284-71-5486

【賛助会員】

サンゴバン 株式会社 アブレイシブ事業部東京支店
東京都墨田区立花4-16-4 オーバルコート立花1F
TEL 03-6231-9661

日本フレキ産業 株式会社
東京都西東京市富士町2-13-17
TEL 042-461-5171

理研ダイヤモンド工業 株式会社
東京都荒川区荒川1-53-2
TEL 03-3805-3471


## 森と木の

## 3200人

桐生木

第18回わたらせ森と木のまつりが10日、桐生市稲荷町地内の新川公園で開かれた。同イベントは林業や木材、キノコ産業の活性化を図ることなどを目的とし、桐生木材組合など17団体で構成する実行委員会や桐生市、み

方々に地場産の林産物の良さを知って頂けたらと思う。消費者の声に耳を

を始め、関係する多くの皆さまに感謝を申し上げる」と話した。

クイズなど参加型イベントも実施

親子連れでにぎわった工作体験コーナー

抱き、また、木を使って頂くことが重要だ」と述べた。

関東整

## 第12回出展技術発表会

関東地方整備局は、さいたま新都心合同庁舎1号館2階講堂で、12月5日午後1時～4時30分と6日午後1時～3時50分に第12回出展技術発表会を開催する。定員は各日500人。申し込み期限は28日だが、定員に達し次第締め切る。発表会は土木学会のCPDプログラム、全国土木施工管理技士会連合会のCPDS

プログラムの認定を受ける予定となっている。

建設技術者などを対象に、公共工事における技術者の知識習得や技術普及を目的として、建設現場の生産性向上に関する取り組みについての情報を提供する。

初日は、京都大学大学院インフラ先端技術共同研究講座特定教授の塩谷智基氏が『土木構造物の

端非破壊技術』をテーマに講演。2日目は関東整備局道路部交通対策課の平哲治課長補佐が『ETC2・0』をテーマに説明を行う。講演後、計8者が生産性向上に関する管理システム・計測の施工技術を発表する。

問い合わせは、関東技術事務所建設技術展示館事務局（☎047－394－6471）まで。

技術発表のプログラムは次の通り（◇出展者

技術発表技術名②発表時間――の順）。資料配布は行わないため、あらかじめ建設技術展示館ホームページからダウンロードすること。

【5日】

◇東亜建設工業＝①自律航行型測深システム『自動ベルーガ』②午後2時10分～2時40分

◇ユナイト＝①アスファルト舗装密度測定器『ペイブトラッカー』②午後3時～3時30分

◇西日本高速道路エンジニアリング四国＝①JISシステム（赤外線トータルサポートシステム）・イーグル（道路性状測定車）②午後3時30分～4時

◇マルイ＝①キャスポル②午後4時～4時30分

【6日】

◇五洋建設・ワムシステムデザイン・日精＝①ColorGateSystem～動作管理システム～②午後1時30分～2時

◇五洋建設・古野電気＝①TCによる車両事故防止&運行管理システム②午後2時～2時30分

◇レント＝①バッテリー再生技術を用いた保有蓄電池の運用期限管理②午後2時50分～3時20分

◇アクティオ＝①プレミアムモジュールファン②午後3時20分～3時

## 児童の

児童の絵が飾られた仮囲い

## 工事への住

柏井建設・吉田組において、工事現場の展示は工事完了の

絵が展示されてい所）発注の「東毛流交付金事業（下水・式推進工（Φ1000m事で、場所は国道46側に位置する。

現場では、施工当たい。何らかの地域風景な工事現場を明の両側歩道を利用し する人々に気付き、いうアイデアが生ま

工事場所付近の学快諾され、保護者の記」が貸与された。

現場担当者は「一を見ていただき、公る。

吉岡町

## 随時、随意契約で

### 避難所の看板設置工事

吉岡町は避難所としての機能を示す看板がない避難所での看板設置工事を3～4カ所ずつ随意契約で委託する。計10カ所で工事を予定しており、施工が可能な箇所から速やかに工事着手したい考え。

看板設置は町内に約30カ所ある避難所の中で設置されていない10カ所が対象。老朽化などで更新が必要とされている。看板は簡易的なものでポール式となる。

9月補正には工事費121万円を計上している。

田中島町地内の市道拡幅

## 最短21年度に着工

伊勢崎市

伊勢崎市は宮郷公民館（田中島町1102）周辺の市道（伊）223号線の拡幅に向けて、測量設計に着手した。2020年度に用地買収を行い、最短で21年度に着工となる。約160mを拡げ、歩道を設置する計画

対象となる市道は建替えた宮郷公民館の東側を通る。現況幅員約6mを北側に広げ10mに拡幅する。十分な拡幅用地が確保できれば、両側に歩道を整備し、利用者の安全性向上を図る。

年度内にまとめる設計業務の結果を考慮しつつ、拡幅用地に当たる伊勢崎警察署宮郷駐在所などと調整して歩道の整備方針を定める。測量設計は伊藤測量（伊勢崎市）がまとめる。

土木の目的・役割伝える

## 17～18日県庁で開催

土木の日

土木の日inぐんま2019が17～18日、県庁で開催される。17日には県内の土木高校生・大学生と建設業で活躍する若手技術者によるパネルディスカッションも行われる。

パネルディスカッションのテーマは「見える土木・見えない土木」。土木の本質や目的をテーマに県内の学生と官民合わせた若手技術者が語り合う。会場は1階県民ホール（北）で、午後1時30分に開催する。

このほか、県民広場などで土木風景のパネル展示やドローンシミュレータによる操縦体験、レーザースキャナの測量実演なども行われる。

土木の日は県と土木学会の主催で実施。社会基盤づくりを担う土木の仕事や役割を知ってもらうためのイベントを毎年開催している。